

令和4年度 第1学年 技術・家庭科(技術分野) 年間指導計画・評価計画(年間35時間)

目標	◎生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。 ◎ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。
----	--

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	題材名	題材のねらい 主な学習内容	評価の規準
4 5 6 ◆	4	【ガイダンス】 生活や社会にける技術の役割	○技術分野の学習内容や学習の進め方についての見通し ・技術分野で学ぶこと ・技術を見つけよう ・技術とわたしたちの生活 ・学習の見通しをもとう	③技術分野の学習内容に関心をもっている。 ②技術が生活や社会に影響を与えていることに気づくことができる。 ③技術の進展と環境との関係に関心を示している。 ③学習の進め方に見通しをもっている。
7 9 10 11 ◆	15 14	A 材料と加工に関する技術	○材料と加工の技術についての基礎的・基本的な知識・技能 ・ものづくりの視点と進め方 ・材料 ・設計 ・製作実習 ○材料と加工の技術による問題解決 <制作実習を通して学習>	②材料と加工の技術の工夫に気づいている。 ①材料の主な特徴や材料と環境との関わりについて理解している。 ①材料に適した作業方法、製作図の必要性やかき方について理解し、基本的な製作図をかくことができる。 ②使用の目的や条件に適した機能や構造、材料と加工方法などを考えることができる。 ①材料に合わせた適切な加工方法を理解している。 ①材料に適した作業方法、製作図の必要性やかき方について理解し、基本的な製作図をかくことができる。 ②材料に合わせて適切な加工ができる。 ②材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて問題を発見することができる。
1 2 ◆ 3	2		○社会の発展と材料と加工の技術 ・材料と加工に関する技術の評価・活用	①材料と加工の技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。 ②・材料と加工の技術の課題を社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討し、適切な解決策を見出そうとしている。 ③材料と加工の技術の課題を進んで見つけようとしている。

◆定期考査 ◇道徳 ★オリパラ教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	【生活や技術についての知識・技能】 生活や社会で利用されている技術についての基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	【生活を工夫し創造する能力】 生活や社会における技術に関わる問題を見出して課題を設定し、その解決を目指して、技術を評価、選択、管理・運用、改良、応用している。	【主体的に実践する態度】 進んで技術と関わりようとするとともに、主体的に技術に関する知識・技能を身に付け、よりよい生活や持続可能な社会を構築するために適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとしている。
評価の方法	【下記の評価資料にて評価を行う】 ・定期考査 ・課題およびレポート ・ワークシートや技術ノート等 ・作業状況や作品	【下記の評価資料にて評価を行う】 ・定期考査 ・課題およびレポート ・ワークシートや技術ノート等 ・作業状況や作品	【下記の評価資料にて評価を行う】 ・定期考査 ・課題およびレポート ・ワークシートや技術ノート等 ・作業状況や作品

学習のアドバイス

(1)授業態度	授業では作業の進め方やコツ、大切なことなどの必要なことを話します。話の内容が、確実に理解でき、作業が主体的にすすめられるような授業態度を求めます。具体的にこのような態度をというよりは、生徒の皆さんそれぞれが、主体的に取り組めるようになっていくのが大切です。また、それは作業効率や作品の出来に大きく影響します。ですから、自分からポイントを押さえて先生に助言を求めたり、意見をもらったりする姿勢が大切です。
(2)提出物	提出物は期限を守ることが大切です。また、提出に関して、不明なことや不確かなことは、自ら先生に聞きましょう。
(3)ふりかえり	提出物や作品、定期考査などで、学習状況を自分で振り返られるよう技術の授業に精力的に取り組ましましょう。